

平成20年度の事業概況

平成20年5月1日に岩手北部地区4JAと合併し、新生「JA新しいわて」としてスタートしました。合併初年度は、「組織風土の統一・統合の年」と位置づけ、各エリアが抱える課題を着実に解決し組合員や地域住民に支持されるよう活動を展開することに、役職員一丸となって取り組んでまいりました。特に合併前からの課題でありました支所再編、物流改革を予定通り実施いたしました。

一方、原油・資材価格の高騰、園芸を中心とした市場価格の低迷、100年に一度と言われる世界的金融危機など、JA・農業を取り巻く環境は大きく変化しました。そのような状況の下、各事業の取扱高は、農産物販売高396億円、購買品供給高174億円、貯金残高1,916億円、貸出金残高526億円、長期共済保有高1兆3,124億円となり、経常利益9.7億円、当期剰余金は4.5億円となりました。

●これからの課題

JA新しいわては「営農とくらし全般におよぶ事業活動を通じて、組合員・利用者の皆さまの価値を高めるとともに、地域社会の発展に貢献すること」を使命としています。「地域密着型サービス事業体」として、5万人の組合員の生活と地域農業への貢献が大きな課題です。今年度、地域農業振興計画を樹立し、農業と組合員の生産基盤を維持拡大し、「量と質の向上」を図ってまいります。JA新しいわての合併の効果を十分に出せるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

●最近5年間の主要な経営指標

| | | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|----------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 経常収益 | (百万円) | 17,251 | 15,040 | 14,837 | 15,537 | 27,301 |
| 信用事業収益 | (百万円) | 1,324 | 1,303 | 1,243 | 1,391 | 2,619 |
| 共済事業収益 | (百万円) | 1,358 | 1,355 | 1,303 | 1,234 | 2,241 |
| 農業関連事業収益 | (百万円) | 10,760 | 9,660 | 9,857 | 10,709 | 18,884 |
| 生活その他事業収益 | (百万円) | 3,616 | 2,417 | 2,294 | 2,029 | 3,429 |
| 営農指導事業収益 | (百万円) | 193 | 123 | 137 | 102 | 128 |
| 経常利益 | (百万円) | 167 | 258 | 244 | △48 | 976 |
| 当期剰余金（△は当期損失金） | (百万円) | 36 | 97 | △185 | △301 | 762 |
| 純資産額 | (百万円) | 8,531 | 8,498 | 8,130 | 7,801 | 11,059 |
| 総資産額 | (百万円) | 106,572 | 106,580 | 106,415 | 107,840 | 216,987 |
| 貯金等残高 | (百万円) | 92,182 | 92,194 | 92,999 | 94,672 | 191,625 |
| 貸出金残高 | (百万円) | 30,062 | 28,063 | 27,092 | 26,158 | 52,649 |
| 有価証券残高 | (百万円) | — | — | 500 | 1,700 | 5,800 |
| 自己資本比率 | (%) | 19.55 | 21.54 | 21.57 | 16.92 | 14.36 |
| 剰余金配当額 | (百万円) | — | — | — | — | — |
| 出資配当の額 | — | — | — | — | — | — |
| 事業利用分量配当の額 | — | — | — | — | — | — |
| 職員数 | (人) | 670 | 690 | 690 | 675 | 1,276 |

注 自己資本比率の算出方法は、平成19年度より新基準（金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその健全性を判断するための基準）に基づき算出しています。

平成20年5月1日に合併しております。

5年後
5万人の組合員と
500億円の産地を作る